

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日経平均株価終値5万1307円、最高値更新

・29日の東京株式市場で日経平均株価は反発。終値は前日比1088円(2.17%)高の5万1307円と、27日の最高値(5万0512円)を上回り、最高値を更新。好調な米株式相場の流れを受け、投資余力の高まった海外投資家が日本株買いを活発化させた。日本人より海外勢からみたほうが日本株のパフォーマンスが良い点も、海外資金を引き付けた。

◆10月の消費者心理、3カ月連続改善「持ち直している」に上方修正

・内閣府が発表した10月の消費動向調査で、消費者態度指数(2人以上世帯、季節調整値)は前月より0.5ポイント高い35.8。3カ月連続で改善。基調判断を「持ち直している」に上方修正。指数を構成する4項目すべてが上昇した。「暮らし向き」は1.1ポイント上がった。株式や土地などの値動きを聞いた「資産価値」は1.8ポイント上がり、6カ月連続でプラス。

◆景気判断「緩やかに回復」維持 10月月例報告、倒産判断は下方修正

・政府は10月の月例経済報告を公表。国内の景気判断は「米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」と先月からの判断を維持。倒産件数の判断は2023年1月以来の下方修正。前月の「おおむね横ばいとなっている」から「このところ増加がみられる」に修正。個人消費や設備投資は判断を据え置いた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京ガスが20円増配 26年3月期の純利益2.6倍に上振れ

・東京ガスは2026年3月期の連結純利益が前期の2.6倍の1940億円になる見通しだと発表した。従来予想(前期比2.5倍の1830億円)から110億円上方修正。オーストラリアの完全子会社の解散に伴う為替換算調整勘定の取り崩し益や液化天然ガス(LNG)輸送船の売却益などが寄与する。年間配当は従来予想から20円増やし100円(前期は80円)に。

◆メガソーラー規制へ法改正 政府調整、希少生物の生息地は開発厳しく

・自然破壊や災害リスクのある大規模な太陽光発電所(メガソーラー)の規制に向けて、政府は種の保存法など16法令の改正・見直しを検討する。タンチョウなど希少生物の生息地域での開発ルールを厳しくするといった対応を調整する。地域と共生した再生可能エネルギー導入を進める。

◆高市首相、ロシア産LNG禁輸は困難とトランプ氏に伝達

・高市早苗首相とトランプ米大統領との協議で、ロシア極東の石油・天然ガス開発事業「サハリン1」「サハリン2」の話題が出たことがわかった。首相からトランプ氏にロシア産の液化天然ガス(LNG)の禁輸は困難だと伝達した。首相は日米同盟の強化に向け経済・安全保障分野で協力を深める方針を確認した。

《 注目商品 》

■ノーリツ、オゾン水・UV除菌搭載の給湯器「GTH-C71/70シリーズ」

・オゾン水やUVによる除菌機能を備えた高効率ガス温水暖房付ふろ給湯器。独自のオゾン水除菌ユニットAQUA OZONE(アクアオゾン)を搭載。オゾン水を流して目に見えないふる配管を除菌し、排水口にたまった水の臭いも抑制する。



■DAIKEN、取付け簡単な音響調整部材3種

・中～高音域の幅広い音域に対応し、フックにかけるだけで簡単に取り付けできる後付けタイプの防音室向け壁面音響調整部材。「サウンドフィユ」はシンプルな正方形で、中～高音域を吸音し、フラッターエコーの改善に適した製品。



■アステック、規格型ユニットバスの新シリーズ

・規格型ユニットバスのシンプルで上質なベーシックラインの新シリーズ。無駄を削ぎ落とし直線的で洗練されたフォルムを採用し、空間に調和する美しいデザインが特長。檜と十和田石を組み合わせた浴槽を標準仕様とし、価格を抑えながらも贅沢な素材感を実現。

